

1年

教材名
「にんじんばたけで」

道徳内容項目
「A 善悪の判断・自律・自由と責任」

1. 本時の授業の価値と照らして、振り返りで児童に書いほしいこと。(ねらいを達成した児童の言葉)

※ 育てたい道徳性に○ ①判断力 ②心情 ③意欲 ④態度

- よいか悪いかをよく考えて選ぶ。
- だめなことはしちやいけない。
- 迷ってもよいことをする。

2. 本時のねらいとめあて(○○○を通して、△△△を養う。など)

三羽のうさぎがにんじんを食べようか迷っている場面を動作化し、自らの体験と場面を重ね合わせて考え、表現することを通して、誰でも判断することに迷うことがあることに気づき、よいと思うことをよく考えて行おうとする判断力を育てる。

よいか悪いか迷ったときどうするか。

3. ねらい達成のために、本文のどの部分を取り上げて、どんな説明をするか。(中心発問の部分と聞き方)

P86 11行目(うさちゃんとおひんちゃんが顔を見合わせる前)まで本文を読み最後は提示しない。

うさちゃん・ゆきちゃんやくを動作化する。

「あっ。あんなどころに、にんじんいっぱいあるぞ。」「おいしそうだね。」

「だれか食べているよ。」「そうだね。みんなも食べているからぼくたちもいいよね。」



○話の続きを知る。(にこにこ、嬉しそう)

◎三羽のうさぎはなぜ食べるのをやめることができたのだろうか。

○三羽と同じように相談しよう。(交流)

- ・きまりを守ることは大事だから。(看板に「はたけにはいるな」と書かれている。)
- ・誰かが大事に育てたものだから。
- ・みんながやっているからやってもよいとは限らないから。
- ・よいことをすると気持ちがいいから。

4. 児童の思考が「善悪の判断・自律・自由と責任」という道徳的内容項目に向かって行くために、中心発問の後にどのような追発問をするか。(補助発問の準備)

◇みんなが食べているから食べてもいいよね。

◇誰も見ていないから食べてもばれないよね。

◇ひんちゃんが「そうかな」と言わなかったら、食べちゃったんじゃないの。

◎授業を実際に行って、気付いたことや考えたこと。(構想シートに関することも含む)